

インフォメーション

春夏製品のご案内



新発売

大人のごてっちゃん 旨辛牛ホルモン焼用

味噌と醤油のコクのある旨みと、唐辛子の後引く辛さで旨みの後に辛さを感じられる「旨辛味」に仕上げました。



リニューアル

ごてっちゃん コク味噌味

ごてっちゃんの美味しさのポイント、クセになるコクと旨みです。3種類の味噌を使った合わせ味噌とローストガーリックを使用したコクの深いたれで仕上げました。



新発売

大人のごてっちゃん 旨塩牛ホルモン焼用

2種類のんにく(おろし・ロースト)と調味エキスで旨み・コクの余韻が残る「旨塩味」に仕上げました。



キャベツ・玉ねぎなど野菜を加えてフライパンで炒める「牛もつ入り調理ソース」です。

リニューアル

ごてっちゃん 牛ホルモン炒め黒だれ

3種類の味噌を使用した深みのある味に仕上げた、コク味噌味の牛もつ入り調理ソースです。ガツンとんにくの味が感じられる調理の仕上げ用の「おろしにんにく」付きです。



リニューアル

ごてっちゃん 牛ホルモン炒め赤だれ

韓国産コチジャンを使用し、コクのある味に仕上げた、旨辛味の牛もつ入り調理ソースです。お召し上がりの際にお好みの量に加え、辛さの調整が出来る「唐辛子パウダー」付きです。



株主ご優待のお知らせ

株主の皆さまだけにお届けします。

ご優待内容

■2月末の株主さま

- ◎2,000株以上保有の株主さま
「10,000円相当の国産牛肉、または、国産豚肉」
- ◎500~1,999株保有の株主さま「3,000円相当の自社グループ製品」
※上記の国産牛肉(豚肉)および自社製品は11月にお送り致します。

■2月末、8月末の株主さま

- ◎100株以上保有の株主さま一律「当社オリジナルギフト商品を優待価格にて販売」
※6月、11月に対象株主さまにカタログをお送り致します。

国産牛肉(和牛) 弊社が厳選した国産牛肉、豚肉の逸品。注:2,000株以上保有



ローススライス



ロースステーキ

国産豚肉(ゆめの大地)



※写真はイメージです。
料理写真の野菜、仕器等は
ご優待セットには含まれておりません。

会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc.(コード番号2292東証プライム市場)
設立	1967年(昭和42年)5月22日
代表者	代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容 (グループ)	食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業

株式メモ

■事業年度	3月1日~翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日	2月末日
■中間配当金受領株主確定日	8月31日
■定時株主総会	毎年5月
■株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■電話照会先	電話 ☎0120-782-031(通話無料) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
■インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払いの配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所	東京証券取引所
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■単元株式数	100株

【特別口座の口座管理機関変更に関するご案内】

2016年5月25日をもって、特別口座の口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社から三井住友信託銀行株式会社へ変更いたしました。



SFoods News

2022年2月期

2021年3月1日~2022年2月28日



代表取締役社長
村上 真之助

事業の概況に についてのご報告

当連結会計年度においては、前年度に続き、日本社会全体がコロナウイルス感染症の度重なる流行で不安定な状況におかれました。さらに原料やエネルギー資源の世界的な価格上昇や不足のため、貿易で立脚する我が国経済は厳しい状況に晒されました。食肉業界においても、6波に亘る感染拡大と、その対応策としての人流抑制措置により、事業活動に大きな制約を受けております。

このような状況のもと、当社グループは、「魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する」、「企業の成長発展とともに、生活・文化の向上を図る」という社是に基づき、お客様に安全安心な食肉商品を安定的にお届けすることを優先課題として、事業の継続と発展に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、需要の偏りと供給の不安定化による市場の混乱の中、安定的な事業継続を目指して諸施策を行いました。営業、製造それぞれの現場において、感染防止のための衛生管理の徹底、事業継続計画の実施などを行い、食品の流通に支障が出ないように業務を遂行いたしました。また、コロナウイルス感染症に関する社内啓蒙活動を行い、ウイズコロナにおける事業のあり方も模索しました。製造事業においては、生活様式の変化に対応した新たな製品の開発及び販売促進に取り組みました。



▼食肉等の小売事業においては、対策本部を設置のうえ、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、度重なる緊急事態宣言と、まん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業や時短営業を余儀なくされる事態となりました。コロナ禍の自粛ムードも含め、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、昨年に続き小売店向けの販売が好調に推移したことなどにより、売上高は3,588億2千4百万円(前連結会計年度比9.6%増)、営業利益は174億2千7百万円(前連結会計年度比38.2%増)、経常利益は179億9千9百万円(前連結会計年度比38.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は119億4千4百万円(前連結会計年度比19.9%増)となりました。

今後の見通し

次々と変異を繰り返し、そのたびに感染拡大を引き起こすコロナウイルスとの戦いは、なかなかその終着点を見通すことはできません。しかし、社会もそれを受け入れ、このウイルスと共存しつつ生活や産業を立て直す方向に向かいつつあるように感じられます。むしろ今後は、年度末に勃発した東欧発の混乱が、日本の産業構造をも変容させる危険性をはらんでいると言えるかもしれません。

徐々に上昇しつつあった原材料やエネルギー価格は、この不安定な社会情勢の影響でさらに高騰する恐れがあります。また、それらの安定的な調達も困難になる可能性があります。このような状況下、当社グループとしては、長年構築してきた食肉関連事業の垂直統合の利点を最大限に生かして、食品の安全保障に資するべく、安定的な事業運営に取り組んでまいります。

食肉等の製造・卸売事業においては、食肉原料の供給網の安定化を目指し、最上流にあたる食肉の生産・調達部門を更に拡充していきます。特に海外での肥育事業については積極的な投資をしていく方針です。米国においては、高級牛肉加工工場であるオーロラパッキングカンパニーにおいて、品質の向上と生産キャパシティの増加を目指し、

新工場建設を進めております。国内営業拠点については、現在の大坂営業所と神戸営業所を統合して、新たな営業所の建設を進めております。今後、各地の営業拠点の整備を積極的に進めていく計画です。

製品事業については、市場の動向に敏感に対応した製品の開発・販促を進めていきます。今年は「こてっちゃん」発売40周年を迎えますので、より一層ブランド価値を向上させるべく販売促進に努めます。また、従来手薄であった調理製品カテゴリーの強化を図るための投資も行います。

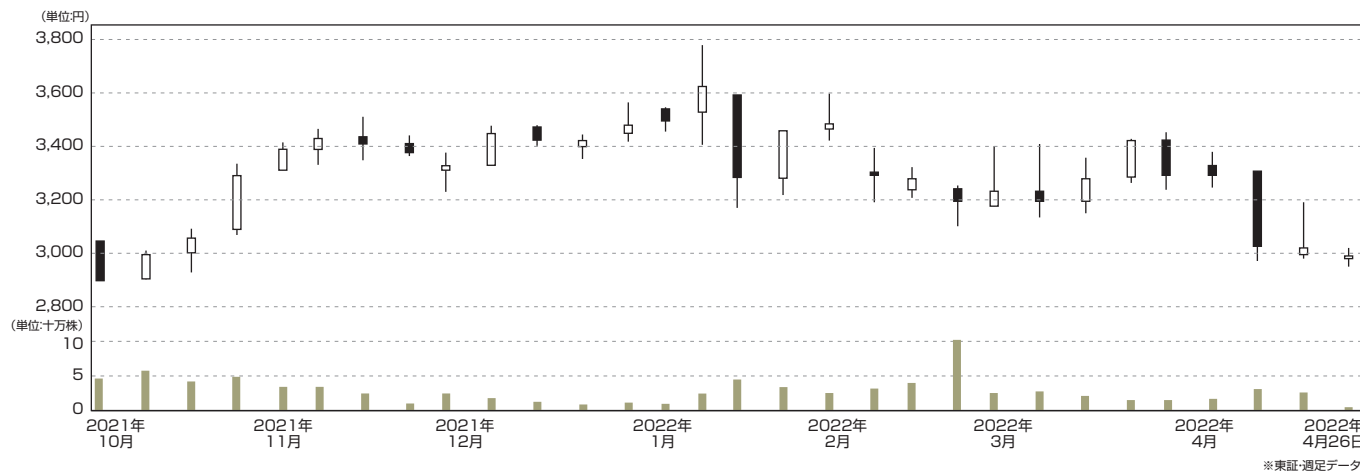
食肉等の小売事業においては、引き続き既存店活性化や、不採算店閉鎖を継続しつつ、新規ディベロッパーへの出店や、新業態店舗への取り組みを進めてまいります。また、精肉小売と惣菜小売の統合を更に進め、スケールメリットを生かしたより効率的な運営を図る予定です。

食肉等の外食事業においては、新型コロナウイルスによる影響を最も被る部門であるとの認識のもと、お客様が安心してご利用できるための衛生対策・環境設備を徹底させるとともに、従来からの着実な採算重視の経営を維持していく方針です。

グループ経営の向上については、不安定な世界情勢下、より緊密で迅速な経営連携が求められますので、横断的な管理を進めることにより、グループ全体のバランスの取れた発展を目指していきます。食品安全や持続可能な社会に対する要請など社会的な経営課題については、より具体的な施策を進めます。また、情報技術を使った経営の合理化への取り組みも加速してまいります。

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルスによる経済の停滞に加え、国際的紛争と分断の収束が見通せず、厳しい経営環境が続くものと予想されることから、売上高3,750億円(前年同期比4.5%増)、営業利益

●株価の推移と株式の売買高



148億円(前年同期比15.1%減)、経常利益150億円(前年同期比16.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益100億円(前年同期比16.3%減)を見込んでおります。

中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、経営の基本方針に沿って食肉の総合企業集団を目指しており、食肉を中心とした食品の安定的な供給体制の確立に引き続き取り組んでまいります。具体的には、食肉の生産、調達、加工、流通、及び最終消費者向け販売・サービスという食肉流通の川上領域から川下領域まで一貫したグループ内食肉サプライチェーンの構築を進めます。さらに、国内に留まらず海外における食肉流通機能も拡充することにより、社会情勢の変動への対応力を高めてまいります。

営業成績と財産状況の推移(連結)

期別 区分	第54期 2020年2月期	第55期 2021年2月期	第56期 2022年2月期	第57期見通し 2023年2月期
売上高	351,972	327,479	358,824	375,000
営業利益	10,703	12,609	17,427	14,800
経常利益	11,085	12,990	17,999	15,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,511	9,965	11,944	10,000
総資産	171,071	172,394	181,518	
純資産	86,348	94,507	106,157	
1株当りの年間配当金	60円	64円	70円	78円

単位:百万円(配当金を除く)